

# 平成22年度事業報告

## 1. 総括

少子高齢化や経済状況の悪化、さらに、無縁社会とよばれるように地域住民のコミュニケーションの希薄化等地域社会における助け合いや支え合い機能の衰退は大きな福祉課題となっており、支援を必要とする人達が一層増加している。

本年3月11日に発生した「東日本大震災」は過去に例がないほどの大災害となり被災地においては、甚大な「人的」「物的」被害を受け、全国あげて懸命な救援活動や復旧・復興活動が進められているが、経済不安はますます増大することが懸念される。この大震災の災害支援に関して、本会では、京丹後市をはじめ、京都府社会福祉協議会や府内市町村社協と連携し、義援金の募集をはじめ、救援物資の仕分け作業を行うためのボランティア活動や本会職員の現地派遣について調整した。今なお避難所生活を余儀なくされている方も多数おられ、復旧・復興までには長期間が必要であり、今後も支援は継続すると共に、改めて地域と共に本会が進めている福祉コミュニティの推進がますます重要であることが実証された。

本会は、地域福祉の中核的な団体として、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進することを使命とし、行政をはじめ、福祉関係機関や諸団体、地域住民と共に活動を展開している。本会活動の基本計画である「第1次地域福祉活動計画」（平成20～24年度までの5ヶ年間）は、「みんなでつくろう！一人ひとりが輝くふれあいのまちづくり」を基本理念に取り組みのものであり、前年度に続きこの計画の実施状況について評価・点検活動を行うため、第1次地域福祉活動計画評価委員会を設置し組織運営、事業関係等全体の課題を整理しまとめた。

また、組織体制については、多様化する福祉ニーズに対応するため、各関係機関や諸団体など幅広い分野からの役員選出や部会委員会機能の見直しを図った。

本会の組織を運営する上で、貴重な財源となっている会員の拡大をはじめ、共同募金活動や歳末たすけあい運動も、厳しい社会経済状況の中ではあるものの今まで以上の取り組みを強化し財源確保を図る必要がある。

地域福祉活動の推進では、地域福祉委員を中心とした地域福祉推進組織による小地域福祉活動をはじめ、サロン活動や高齢者等支援を必要とされる人が地域で安心して暮らせるように、モデル地区を選定して実施した高齢者見守り隊事業では住民の主体的な福祉活動も広がってきた。さらに、小地域より広域な範囲における福祉活動を推進することをねらいとした広域福祉活動支援事業も2年目を実施した。

ボランティア活動関係では、福祉と企業の連携を図るため、初めての取り組みとして企業ボランティア講座を開催し、今後啓発活動により理解を広げていく。災害ボランティア関係では、市内が被災した場合等に迅速にボランティアセンターの設

置運営ができるよう災害ボランティア事前登録制度について昨年に引き続いて取り組みを強化した。

また、住みなれた地域で日常生活をおくる上で、必要な判断が一人では難しい高齢者や障害者等の福祉サービスの利用を支援し、権利を守るための福祉サービス利用援助事業は、急速に利用者が増加し、契約者や家族から好評を得ている。

福祉有償運送事業は、利用者が安全に安心して利用できる運行体制を図りながら地域生活を支援するサービスとして大きな役割を担っており、特に高齢化が進む中で、医療機関への送迎を中心に安定したサービスの提供を図ってきた。送迎用の福祉車両の老朽化が進む中、市の補助を受け車両1台購入したほか京丹後ロータリークラブから車両1台の寄贈を受け、サービスの充実を図った。また、「食の自立支援事業」や「生きがい活動支援通所事業」等の在宅生活を支える事業をはじめ、介護保険事業である「通所介護事業」や「訪問介護事業」「訪問入浴介護事業」「やさか老人保健施設ふくじゅ」等についても、常に利用者の安心・安全に重点を置いた質の高いサービスを提供した。

## 2. 重点事業について

### (1) 福祉委員活動の強化及び地域福祉推進組織の組織化推進

地域福祉推進において、福祉委員の役割は極めて重要であるため、福祉委員の改選期である本年、研修会や地域福祉委員会等で、役割や活動方法、また、地域福祉推進組織の組織化について理解を高めた。また、活動推進にあたり、区長等の理解と協力が必要であることから、区長会や住民懇談会等において福祉委員の必要性や役割について説明した。福祉委員数は微増しており、複数年、福祉委員を担う方や、福祉委員を増員する地区も増えてきたほか、2地区で組織化が図られた。

### (2) サロン活動や見守り活動等、小地域福祉活動の推進

サロン活動は地域の中の福祉活動として定着してきたが、担い手の体制や内容等について課題を抱えている地区もあり、既存サロンの安定化と新たなサロンの立ち上げを目的に担い手研修会を開催すると共に、レクリエーション用具の貸出しやプログラム作り等、日常的な支援を行った。また、独居高齢者等、要支援者が増える中、地域住民による日常的な支援活動として見守り活動に重点を置き、モデル地区の指定や各地区への助成、また研修会により、活動推進を図った。モデル指定は新規を含む7地区を指定し、定期的な訪問活動や災害にも対応した見守りの仕組づくり等、地域に応じた活動が広がってきた。

### (3) 広域福祉活動支援事業の推進

小学校区域から京丹市域までの広域なエリアで、異なる団体や組織が連携して取り組む、「新たな視点での福祉活動」や「福祉課題の改善を図る活動」を支援する事業として2年目を迎え、より活用しやすく効果的な事業となるよう、助成内容の見直しを行った。新規1事業と昨年からの継続事業の2事業に対して必要な支援を行い、新たなつながりと仕組みづくり広がってきた。

### (4) 新たなボランティアの開拓とボランティア連絡会活動の充実

新たな視点と、必要とされるボランティアの開拓にあたり、サロンサポーター養成講座や企業ボランティア講座等研修会を開催した。活動を限定した内容だと、参加者が限られる傾向にあったが、広く広報することでボランティアへの理解が高まり、また、企業と施設等が結びつくきっかけとなった。ボランティア連絡会については、組織機能充実にあたり、会議や行事等において必要な支援を行う共に相乗的な活動展開が図れた。

### (5) 災害ボランティア事前登録制度の運用

災害がおきたときに、迅速に救援活動を行うための備えとして、事前登録制度を設けた。機会あるごとに周知を図り、個人18人、団体6件の登録があった。今後も引き続き登録を呼びかけると共に、登録者に対し研修や情報提供を行い、災害知識や技術を高め、災害時に対応できる準備を行う。

### (6) 在宅福祉サービス事業・介護保険事業・生活支援事業の充実

「食の自立支援事業」や「生きがい活動通所事業」等の在宅生活を支える事業をはじめ、介護保険事業である「通所介護事業」、「訪問介護事業」、「訪問入浴介護事業」、「やさか老人保健施設ふくじゅ」等を実施した。効果的・効率的な事業運営を行うと共に、苦情解決制度等、常に利用者の安心・安全に重点を置いた質の高いサービスの提供に努めた。

### (7) 社協組織・運営の安定化並びに改善

組織運営に関する取り組みとして、役員を選出区分や部会、委員会の見直しを図り、財政基盤づくりについて検討する体制ができた。

社協の自主財源の一つである会費は、平成16年の合併後年々減額となっており、今後もこの状況が続くことが予想される中、会費の増強について引き続き検討が必要である。また、合併時に各町社協から持ち寄った地域福祉資金や組織機構の検討が課題である。

平成20年に策定した地域福祉活動計画は3年目を終了し、21年度に続いて評価・点検作業を行った。

### 3. 事業概要 I (第 1 次地域福祉活動計画)

#### 基本目標①「だれもが主役のまちづくり」

##### I - 1

事業名及び事業目的	取組み内容と実績
<b>福祉活動啓発活動</b> ・ 広報紙発行・他の機関の広報紙の活用 (No. 1) 本会活動や事業紹介、福祉に対する理解と啓発を目的に情報発信を図る。 ・ ホームページの内容充実 (No. 3) 情報を随時発信することで、住民が最新の福祉情報を得やすくする。	・ 広報紙ころ：年6回、21,100部発行 ・ 年2回発行回数を増加し、よりタイムリーな情報提供に努めた。 ・ 掲載内容をテーマごとに分類し、見やすく、わかりやすい紙面とし、仕様は、全面2色印刷とした。 ・ ホームページ：定期的な更新を心がけたが昨年度よりアクセス数は減少した。

《内容》

#### (1) 京丹後市社協だより「ころ」

第23号 平成22年5月発行

報告)平成22年度事業計画と予算、理事・評議員交代他  
 紹介)広域福祉活動・サロン助成金事業

第24号 平成22年7月発行

報告)平成21年度事業報告と決算他  
 紹介)福祉委員による地域福祉活動

第25号 平成22年9月発行

報告)安心カードの取り組み、研修会、体験学習他  
 紹介)共同募金、生活福祉資金、災害ボランティア事前登録

第26号 平成22年11月発行

報告)府福祉大会、会費、共同募金、福祉教育他  
 紹介)歳末たすけあい運動、介護予防・介護事業他

第27号 平成23年1月発行

報告)歳末たすけあい運動、ボランティア活動、研修会他  
 紹介)ボランティア養成講座、収集ボランティア、職員倫理綱領

第28号 平成23年3月発行

報告)広域福祉活動、福祉有償運送事業、福祉サービス利用援助事業他  
 紹介)ふれあいいきいきサロン

#### (2) ホームページの充実

事業の案内や職員募集、見守り情報の発信、東日本大震災に関する最新情報など、関係機関のホームページとリンクすることで常にタイムリーな情報の発信を行った。申請書等の関係書類のダウンロードの設定は一部の事業に留まった。

年間延べアクセス数 4,136件

I-2

事業名及び事業目的	取組み内容と実績
<b>住民懇談会の充実</b> ・住民懇談会（No. 4） 住民ニーズの把握並びに社協活動理解の機会とし、地域福祉活動の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の状況に応じた単位で、区からの懇談会の依頼や要望に応えるかたちで実施し、実施回数27回で参加者数は465人であった。</li> <li>・福祉活動の理解を高めるため、福祉ビデオを活用したり、サロンと合わせて開催する等、内容や方法を工夫した。</li> <li>・2回の開催の町や、全地区で実施した町があった。</li> </ul>

《住民懇談会》前年度比：実施数14減 参加人数282人減

町	実施日	懇談会名	参加人数
峰山	6月23日	橋木区福祉座談会	6
	9月14日	荒山区福祉座談会	11
大宮	8月21日	口大野地区福祉懇談会	27
	9月15日	奥大野地区福祉懇談会	14
	11月17日	谷内地区福祉懇談会	8
網野	6月21日	北小学校区（水之江・北大路・小浜）福祉懇談会	26
	6月22日	郷小学校区福祉懇談会	11
	6月23日	橘小学校区福祉懇談会	20
	6月24日	島津小学校区福祉懇談会	20
	6月25日	北小学校区（浅茂川・磯）福祉懇談会	22
	6月28日	三津小学校区福祉懇談会	15
	6月29日	南小学校区福祉懇談会	28
弥栄	8月23日	黒部地区福祉懇談会	26
	10月15日	野間地区福祉懇談会	7
	10月31日	吉沢区福祉懇談会	23
	11月15日	溝谷区福祉懇談会	34
	11月27日	和田野区福祉懇談会	23
丹後	9月1日	間人地区福祉懇談会	23
	11月26日	下宇川地区福祉懇談会	19
久美浜	7月27日	久美浜湊地区住民懇談会	11
	8月2日	久美浜二区住民懇談会	10
	8月3日	久美浜一区住民懇談会	14
	8月4日	佐濃地区福祉懇談会	14
	9月28日	神野地区住民懇談会	7
	10月6日	田村地区住民懇談会	12
	10月8日	海部地区住民懇談会	19
	10月12日	川上地区住民懇談会	15
27会場			465

事業名及び事業目的	取組み内容と実績
<b>学生への福祉学習</b> ・社会福祉体験学習 (No. 5) 中学生・高校生が福祉や福祉の仕事を理解し、人として大切なものを学習する。 ・学校福祉教育への協力 (No. 7) 体験学習を実施すると共に、学校が実施する福祉学習に協力し、福祉教育の充実を図る。	・体験学習は学校・福祉施設・社協の三者を推進体制とし、中学生・高校生が施設で3日間の体験学習を実施した。参加した中学生36人・高校生27人は、福祉への理解を深めた。 ・福祉教育推進事業として保育所・幼稚園・小学校・中学校に助成し、福祉教育の充実を図った。また、福祉出前講座や講師派遣、福祉体験用具の貸し出し、福祉教育プログラムづくりのアドバイス等を行った。 ・社会福祉体験学習は年度末で終了した。

《社会福祉体験学習》

(1) 推進会議

場 所	実 施 日	参加人数
峰山地域公民館	5月26日	36
参加人数合計		36

(2) 事前学習会

場 所	実 施 日	参加人数
大宮中学校	7月 9日	14
峰山支所・大宮支所及び体験先施設	7月15日	17
峰山支所 ら・ぽーと1階 弥栄庁舎2階小会議室及び体験先施設 久美浜デイサービスセンター 佐濃デイサービスセンター	7月20日	33
網野支所	7月22日	1
高龍中学校	7月23日	4
グループホームいわきの里	7月28日	1
大宮支所及び体験先施設	8月 2日	1
参加人数合計		71

(3) 体験学習 (3日間通所プログラム) 前年度比：参加人数3人増

体 験 先	実 施 日	参加人数
はごろも苑	8月18・19・20日	峰山中学校 2
	8月21・22・23日	峰山中学校 2
	8月24・25・26日	峰山中学校 2
グループホームもみじ	7月26・27・28日	峰山高等学校 1
	8月3・4・5日	峰山中学校 2
	8月18・19・20日	峰山中学校 2
	8月24・25・26日	峰山中学校 2
あけぼの荘	7月28・29・30日	大宮中学校 1

おおみや苑	7月26・27・28日	峰山高等学校 2
	8月2・3・4日	大宮中学校 2
	8月5・6・7日	大宮中学校 2
	8月9・10・11日	大宮中学校 3
	8月16・17・18日	大宮中学校 3
大宮生きがいデイサービス	7月22・23・26日	峰山高等学校 2
	8月10・11・12日	峰山高等学校 1
	8月19・20・23日	大宮中学校 2
デイサービスセンター住の江	7月26・27・28日	網野中学校 2
高齢者総合福祉施設丹後園	8月3・16.18日	網野高等学校 1
網野デイサービスセンター	7月26・27・28日	峰山高等学校 1
グループホームいわきの里	8月2・3・4日	間人中学校 1
養護老人ホーム満寿園	8月5・6・7日	網野高等学校間人分校1
グループホームかえで	7月27・28・29日	峰山高等学校弥栄分校3
はなまるデイサービス	7月29・30・31日	弥栄中学校 2
弥栄はごろも苑	7月22・23・24日	峰山高等学校 2
	7月26・27・28日	久美浜高等学校2
	8月10.11.12日	弥栄中学校 3
久美浜デイサービスセンター	7月27・28・29日	久美浜中学校 1
佐濃デイサービスセンター	8月18・19・20日	久美浜高等学校1
久美浜生きがいデイサービス	7月28・8月4・11	高龍中学校 2
障害児者多機能型生活支援センターろむ	7月26・27・28日	大宮中学校 1
	8月10・11・12日	峰山高等学校 1
四つ葉ハウス	8月24・25・26日	網野中学校 3
峰山乳児院	7月23・24・25日	峰山高等学校 2
	7月26・27・28日	峰山高等学校弥栄分校2
峰山乳児院付設幼児寮	7月23・24・25日	峰山高等学校 2
	7月26・27・28日	峰山高等学校 1
	7月29・30・31日	久美浜高等学校 1
合 計	37	66

(4) 事後学習会 (下記以外は3日間の最終日に実施)

場 所	実 施 日	参加人数
峰山乳児院	7月25日	4
大宮支所	7月26日	2
グループホームもみじ 峰山乳児院 大宮支所 グループホームおおみや	7月28日	7
久美浜デイサービスセンター	7月29日	3

あけぼの荘	7月30日	1
峰山乳児院	7月31日	1
グループホームおおみや グループホームいわきの里	8月 4日	3
グループホームもみじ	8月 5日	2
大宮支所	8月 7日	2
グループホームおおみや 久美浜農業センター	8月11日	9
障害児者多機能型支援センターろむ	8月12日	1
大宮支所	8月13日	1
弥栄庁舎 2階中会議室	8月17日	17
グループホームおおみや	8月18日	3
グループホームもみじ はごろも苑 佐濃デイサービスセンター	8月20日	7
大宮支所 網野支所	8月23日	3
グループホームもみじ はごろも苑	8月26日	4
ら・ぽーと 1階	8月27日	4
はごろも苑	8月29日	2
参加人数合計		76

《福祉教育推進事業》

	実施数	延べ参加人数
保育所	27	4,060
幼稚園	3	185
小学校	30	6,807
中学校	9	2,700
合計	69	13,752

《学校福祉教育への協力》

学校名	日時	対象	内容
吉原小学校	11月22日	全学年	耳の聞こえが不自由な方の話を聴く人権学習への講師派遣
丹波小学校	11月25日	全学年	耳の聞こえが不自由な方の話を聴く人権学習への講師派遣
大宮中学校	9月21日	1年生	京の子ども夢・未来体験学習の福祉・保育体験にあたり、事前学習会の講師として「福祉について」の出前講座
	10月13日	ボランティアアパソコン部	車イス体験及び介助の方法について講師
島津小学校	6月10日	全学年	耳の聞こえが不自由な方の話を聴く人権学習

			への講師派遣
橘中学校	7月 9日	1年生	アイマスク及び車イス体験の福祉出前講座
網野中学校	10月8日	希望者	福祉に関する話と、アイマスク及び車イス体験の福祉出前講座
野間小学校	6月 1日	全校生徒、PTA	耳の聞こえが不自由な方の話を聴く教育講演会への講師派遣と講師サポート
峰山高等学校 弥栄分校	6月11日～ 14日	全学年	福祉教育に使用する車いす7台貸出
黒部小学校	11月9日	全学年	耳の聞こえが不自由な方の話を聴く人権に関する講話への講師派遣と講師サポート
吉野小学校	11月19日	全学年	耳の聞こえが不自由な方の話を聴く人権に関するお話を聴く会への講師派遣と講師サポート
鳥取小学校	11月19日～ 12月 1日	全学年	総合的な学習の時間「福祉教育」の学習に使用する車いす4台貸出
佐濃小学校	6月14日	全学年	耳の聞こえが不自由な方の話を聴く人権学習への講師派遣
久美浜高校	7月27日	2年生	地域の社会資源実習・地域サロンで受け入れ
久美浜中学校	9月～10月	3年生	福祉を知る学習の一環で 学習・体験後、計画したことを利用者の前で発表する
久美浜高等学校	11月26日	2年生	京丹後市における地域福祉推進の取組

#### I-4

事業名及び事業目的	取組み内容と実績
<b>地域での福祉学習</b> ・地域住民を対象とした福祉学習・研修会の推進 (No. 8) 地域住民が福祉について学び、関心を高めることで地域力を高める。 ※小地域いきいきネットワーク活動事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小地域いきいきネットワーク活動事業の重点事業として、申請案内時や地域福祉委員会において説明し、推進を図った。</li> <li>・28地区で、認知症や地域福祉活動について地域住民を対象とした福祉学習が実施され、福祉推進役となる人材育成や福祉活動への理解を深めることができた。</li> </ul>

#### I-5

事業名及び事業目的	取組み内容と実績
<b>住民への福祉学習</b> ・福祉のまちづくり研修会 (No. 9・10) 住民の自主的な福祉活動やボランティア活動により、地域住民が支えあい、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践を交え、楽しくわかりやすい講演を聴くことで地域福祉活動の大切さと福祉への理解を改めて実感する機会となった。</li> <li>・会場を高等学校で実施したことにより、学校で福祉を学ぶ生徒との協力を得て、今までにない研修会を開催した。</li> </ul>

《福祉のまちづくり研修会》

日 時：10月30日 場 所：京都府立久美浜高等学校

参加者数：175人

内 容：・久美浜太鼓保存会によるオープニング  
 ・久美浜浦明地区ふれあいサロン実践

- ・ m o t t o ひょうご 事務局 長栗木剛氏による講演
- ・ 久美浜町十楽区による見守り活動についての実践発表
- ・ 久美浜高等学校福祉系列生徒による発表

I—6

事業名及び事業目的	取組み内容と実績
<b>福祉委員活動の育成 重点事業</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域福祉委員会の機能強化 (No 1 1)</li> <li>・ 福祉委員研修会 (No 1 2)</li> <li>・ 福祉委員制度の見直し (No 1 3)</li> </ul> 地区福祉委員代表が情報交換等を行い、相乗的に福祉委員活動や小地域福祉活動の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉委員の改選年度であり、新たな福祉委員を含む609人を対象に研修会を開催し、福祉委員の役割や地域福祉の重要性等について理解を深め、機能強化を図った。</li> <li>・ 福祉委員数は微増しており、一人の方が複数年継続したり、福祉委員を増やし体制を強化する地区も増えてきた。</li> <li>・ 福祉委員活動の手引きを作成し、理解と活動推進に役立てた。</li> <li>・ 福祉委員活動の活性や小地域福祉活動の推進を図ることを目的に町ごと地域福祉委員会を開催し、課題解決に向けた協議や情報交換等を行った。</li> <li>・ 各町の課題解決や福祉活動の充実を図ることを目的とする地域福祉委員会事業は、昨年取り組んだ委員会に加え、新たに1委員会増え、他の委員会でも実施に向けた協議が行われている。</li> <li>・ 福祉委員の町域での協議を行う場として、各町の地域福祉委員会の正副委員長による合同会議を開催した。</li> </ul>

《福祉委員数》 前年度比：17人増

峰山	202	大宮	85	網野	108	丹後	67	弥栄	64	久美浜	83	合計	609
----	-----	----	----	----	-----	----	----	----	----	-----	----	----	-----

《福祉委員研修会参加者数》

峰山	111	大宮	50	網野	72	丹後	49	弥栄	50	久美浜	88	合計	420
----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	-----

※久美浜は2回実施

《地域福祉委員会・地域福祉委員会事業》

	実施日	参加人数	内容
峰山	4月22日	8	年間行事計画
	5月6日	31	事業計画、年間行事計画、福祉活動推進等
	7月20日	8	事業計画、住民懇談会計画
	9月21日	9	事業計画、住民懇談会報告
	地域福祉委員会事業 10月19日 福祉・ふれあい研修交流会 内容：サロン・レクリエーション実践研究 49人		
大宮	4月28日	11	正副委員長選任、地域福祉推進組織の組織化状況について、意見交換
	6月22日	11	住民懇談会、サロン担い手研修会、委員会事業について、意見交換

	3月24日	13	事業まとめ、次年度事業計画、意見交換
網 野	4月30日	30	正副委員長選任、地域福祉推進組織の組織化・運営について
	地域福祉委員会事業 サロンアイデア集の発行と配布		
丹 後	5月28日	25	正副委員長選任、地域福祉推進組織の組織化・運営について
弥 栄	4月28日	15	正副委員長選任、活動助成、サロンへの保健師訪問調整、サロン担い手研修会、地域福祉委員会事業、意見交換
	7月28日	14	各地区取り組み状況、住民懇談会計画、地域福祉委員会事業、要望及び地域福祉資金の活用、意見交換
	地域福祉委員会事業 11月19日 福祉委員研修会 内容：高齢者見守り隊事業の推進、ビデオ鑑賞、演習、サロンプログラム干支押し絵づくり 33人		
久美浜	4月 16日	7	正副委員長選任、地域福祉委員会の機能について
	10月19日	5	福祉懇談会まとめ、意見交換
	3月16日	6	正副委員長選任等

《地域福祉委員会合同会議》

実施日	参加者数	内容
5月 18日	10	京丹後市社協・活動計画の説明、合同会議の役割

I-7

事業名及び事業目的	取組み内容と実績
<b>地域福祉推進組織の組織化と活動推進 重点事業</b> ・地域福祉推進組織による小地域活動の推進（No14・15） 地区や連合区を単位に、福祉委員を中心とした地域福祉の推進基盤（地域福祉推進組織）を組織化し、複数体制による効果的な小地域活動の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織化について福祉委員研修会や地域福祉委員会で説明し新たに2地区で組織化が図られた。</li> <li>組織化が困難な地区への対応が不十分なことと、住民活動に限界がある地区が増えている。</li> </ul>

《地域福祉推進組織》 前年度比：2組織増

	地区数	組織化助成地区数	組織化地区数	前年度組織化地区数
峰 山	37	2	26	24
大 宮	16		14	14
網 野	44		21	21
丹 後	37		27	30
弥 栄	15		15	15
久美浜	71		8	8
合 計	220	2	111	112

事業名及び事業目的	取組み内容と実績
<p><b>ボランティアセンター機能の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談窓口の充実 (No. 17) 活動希望者や支援希望者、また、ボランティアについての情報を必要とする方へ、的確な情報が提供できるよう相談窓口の充実を図る。</li> <li>・ボランティアの需給調整 (No. 19) 支援希望者と活動希望者の需要と供給を的確に結びつけることにより、ボランティア活動の推進と住みよいまちづくりを進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア登録、コーディネート、グループの活動支援、保険加入等、活動しやすい環境づくりを図った。</li> <li>・登録ボランティアのボランティア保険料を本会と京都府社会福祉協議会から補助した。</li> <li>・ボランティア登録状況は、前年度比、登録者グループ数6減、人数644人増、新規登録は3グループだった。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙による情報発信 (No. 18) 情報を発信し、関心と参加促進を促すと共に、センター機能の啓発を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙にボランティア養成講座、ボランティア募集や情報提供、ボランティア連絡会活動を掲載した。</li> <li>・ホームページでも、登録グループの紹介やボランティア募集、連絡会活動等を掲載した。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなボランティアの開拓・育成 <b>重点事業</b> (No. 22) ボランティア理解を広めると共に、活動者を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン開設への要望はあるが、担い手不足によりサロン開設ができない地域を支援するため、福祉委員等と協力しサロンを運営するサロンサポーターを養成する講座を開催した。</li> <li>・新たなボランティア活動の開拓として、シニア世代の力を地域で活かしたボランティア活動者の発掘を目指し、先進的な活動者を招き、講座を開催した。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業ボランティア活動開始と展開方法の模索 (No. 25) 福祉と企業が連携し、新たな活動やしくみをつくり、地域の活性化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成21年度に実施した京丹後市内企業へのアンケート調査をもとに、企業と協働できる活動を探るために、先進的な活動者を招き、講座を開催した。</li> <li>・講座の内容として、福祉施設との連携のきっかけづくりになることを目指し、京丹後市内障害者福祉施設の活動紹介と施設で制作されている商品の出店ブースを設け、企業と福祉施設の出会いの場とした。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアまつりの企画 (No. 27) 平成23年度に開催する「ボランティアまつり(仮称)」にむけ、実施体制及び内容について企画する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京丹後市ボランティア連絡会役員会において、「ボランティアまつり」についての議題提起を2回に渡り行った。また、各町ボランティア連絡会等からも意見を集めてもらい、活動者の意見集約を行った。</li> </ul>

## 《ボランティア事業》

## (1) ボランティア講座

## ① 「サロンサポーター養成講座」

日 時：8月21日 場 所：久美浜農業センター 参加者：28人  
内 容：報告「ふれあいサロンとは」 京丹後市社会福祉協議会  
実践発表「わたしたちのサロンを紹介します」

甲坂ふれあいサロン 岡野 敬子 氏  
長岡こんにちは会 岩城 弘子 氏  
演習「サロンに役立つレクリエーション」 岩城 弘子 氏  
交流「サロン活動について話しましょう」  
体験「レクリエーション道具の体験」

②「シニア世代の力を地域で活かす～ボランティアで豊かな人生を～」

日 時：3月13日 場 所：峰山地域公民館 参加者：12人  
内 容：講演「趣味の大工仕事を地域のために」

日曜大工グループNPO・とんかち 理事長 神庭 稔 氏  
活動紹介「京丹後市におけるシニアボランティア」

亀の恩返し 花の玉手箱 岩渕 義博 氏  
やさか歌謡同好会 伊藤 修一 氏  
網野デイサービスセンター 松江 多恵子 氏  
ビデオ鑑賞「大人の居場所づくり」  
情報交流「シニア世代の地域デビューとは」

(2) 企業ボランティア

①「ボランティアからCSRへ」

企業の力を地域のかへ ～企業と福祉施設のゆるやかな連携～

日 時：11月11日 場 所：峰山総合福祉センター 参加者：35人  
内 容：報告「京都府内のCSR活動事例と京丹後市における企業の

地域貢献活動に関するアンケート調査について」

京都府社会福祉協議会 菊本 隆博 氏

講演「企業と福祉のゆるやかな連携を目指す」

TSUBASU会 代表 中谷 安志 氏

報告「京丹後市内における企業と福祉施設の連携について」

京丹後市社会福祉協議会

活動紹介「京丹後市内障害者福祉施設活動紹介」

あみの福祉会、よさのうみ福祉会、久美の浜福祉会

その他「京丹後市自立支援協議会就労支援部会活動紹介DVD上映」

「障害者福祉施設出店ブース」

《ボランティアセンター登録状況》

(1) ボランティアセンター登録状況 前年度比：640人増 6グループ減

グループ(会員数)	84グループ(延べ2,547人)
個人	10人
福祉委員	604人
雪下ろし・雪すかし活動者	313人

合計	3,474人
----	--------

(2) 登録ボランティアの保険加入状況 前年度比：275人増

加入プラン（保険料）	加入人数
基本A（300円）	2,167人
基本B（500円）	159人
合計	2,326人

I—9

事業名及び事業目的	取組み内容と実績
<b>ボランティア活動推進とボランティア連絡会機能の充実 重点事業</b> ・活動支援 (No. 30) ボランティアが活動しやすい環境をつくり、持てる力を発揮できるよう支援する ・町ボランティア連絡会 (No. 32・33) 町域の身近なグループ間の連携により、活動の広がりとお充実を図る。 ・市ボランティア連絡会 (No. 34～37) 広域連合組織として構成員の意識を高めるとともに、市域のボランティア活動全体の向上を図る。	・グループ運営、会員募集などの相談全般、保険加入手続き、ボランティアルームの提供等で活動を支援した。 ・本会及び京都府社会福祉協議会は、積極的に活動しているボランティアグループの活動の拡充と発展のため必要な資金を援助した。 ・ボランティア保険料補助で安心して活動できる環境整備を図った。 ・グループ活動の広がりを支援するため、民間助成の活用を支援した。 ・本会備品の貸し出しや、グループ間で貸し借りできるよう調整した。 ・ボランティア連絡会へ活動助成を行うとともに、事務局として運営や活動の支援にあたった。

《京都ボランティアバンク補助事業によるボランティアグループ活動助成》

(1) ボランティアグループ活動補助金

- ・補助グループ 12グループ（前年度比：1グループ減）
- ・補助金総額 264,000円（前年度316,000円）

《ボランティア基金運用による助成等》

(1) 今年度末基金保有額 219,559,077円 運用益2,500,592円

(2) 主な事業内容

①ボランティア助成

- ・ボランティアグループ活動助成  
 助成グループ 48グループ 1,448,000円
- ・京丹後市ボランティア連絡会活動助成事業  
 京丹後市ボランティア連絡会 400,000円

《ボランティア連絡会（連絡協議会）運営及び活動の支援》

(1) 京丹後市ボランティア連絡会

- ①役員会 年6回（5/17、7/22、9/3、12/3、2/4、3/22）
- ②町ボランティア連絡会の活動活性化支援
- ③クリーン作戦 日時：10月23日 参加者数：297人  
 内容：市内6会場でクリーン作戦を実施

全国一斉ボランティアデーである、10月第4土曜日に開催

④広報音訳ボランティア交流会

日 時：3月15日 場所：網野健康福祉センター 参加者数：12人  
内 容：現在の活動状況について情報交換、今後の連携について意見交換

⑤ボランティア紹介冊子の作成 1,200部作成

内 容：ボランティア連絡会活動や加盟グループを紹介する冊子を作成し、新規加盟の促進を図り活動者の“輪”を広げること、また活動の広がり求めて作成

(2) 峰山町ボランティア連絡協議会

①役員会及び定例会 年5回 (6/17、8/26、10/12、12/7、3/14)

②環境美化活動 (プランター花壇づくり)

日 時：10月23日 場 所：本会峰山支所前駐車場 参加者42人  
内 容：峰山高校生徒が作成した「峰山町ボランティア協議会」名入り木製プランターにビオラの株を添え、町ボラ各団体に配り、自宅等の玄関先に配置し、ボラ連のPRをした。

(3) 大宮町ボランティア連絡会

①役員会 年8回 (4/5、5/25、8/20、9/21、11/8、12/16、2/22、3/28)

②ふれあい弁当お届け事業

日 時：11月13日 調理場所：アグリセンター お届け人数：65人  
内 容：・80歳以上の一人暮らしのかたで希望された人へ、手作りのふれあい弁当をお届けし、困りごとがないか近況についてお話しを聴く  
・年賀状で新年のあいさつ

③ボランティアだより発行 発行日：3月25日 4,500部作成

内 容：私たちの活動を知ってもらい仲間を増やすため、たよりに作成し町内各戸配布

(4) 網野町ボランティア連絡会

①役員会 年5回 (4/21、6/25、8/27、10/15、3/18)

②ボランティアだよりの発行 計1回 (1/25)

発行数：5,000枚 発行方法：町内各戸配布

③クリーン&ウォーク事業

日 時：10月23日 場 所：引原峠  
参加者：69人 (ボランティア35人、一般30人、事務局1人、職員3人)  
内 容：引原峠約5.5km歩いて清掃活動を行い、終点のすこやかセンターにて参加者同士の交流会を実施。帰りは北近畿タンゴ鉄道を利用し利用促進に協力した。

④ボランティア会員交流会

日 時：12月1日 場 所：いっぷく亭  
参加者：17人 (ボランティア15人、事務局1人、職員1人)  
内 容：ボランティアクイズやケーキ作りなどで交流し、町ボランティア連絡会やクリーン&ウォークについての意見交換をする。

⑤ボランティア活動展

日 時：3月8日～3月18日

場 所：市網野健康福祉センター（ら・ぽーと）内1階フロア

内 容：網野町ボランティア連絡会、各ボランティアグループの1年間の活動報告と啓発。

(5) 丹後町ボランティア連絡協議会

①役員会 年5回（4/6、6/10、7/26、8/30、3/8）

②プラチナ世代の丹後町いきいきフェスティバル

日 時：7月17日 場 所：丹後地域公民館 参加者：約130人

内 容：『ふるさとの盆踊りをたずねて』

地区の盆踊りを観賞し、なつかしいひとときを過ごす

(6) 弥栄町ボランティア連絡協議会

①役員会及び定例会 年4回（5/10、6/28、8/25、1/27）

②ちょこっとボランティア活動 プルタブ収集活動の実施

③会員交流会

日 時：10月23日 場 所：弥栄地域公民館 参加者：21人

内 容：プランターへの花植えを行い、弥栄町内6施設へ届けた。また、カレーライスを作り、参加者全員で会食し交流を図った。

④ボランティア研修会

日 時：3月16日 場 所：市弥栄庁舎 参加者：17人

内 容：「楽しいレクリエーションを学ぼう」 講師 田中千寿子 氏  
「干支の押し絵飾り作り」（作品は弥栄町内6施設へお届け）

(7) 久美浜町ボランティア連絡会

①役員会 年7回（4/22、6/14、7/30、10/8、1/25、2/21、3/4）

②第5回くみはまボランティアのつどい～絵本とお母さんのつどい～

日 時：11月13日 場 所：久美浜農業センター 参加者：41人

内 容：絵本と紙しばいを楽しむ

お話 ・絵本とことばと子供の心 ・食育って大切！

布絵本作り

食生活改善推進員協議会 久美浜支部より手作りお菓子のプレゼント

I-10

事業名及び事業目的	取組み内容と実績
<b>関係機関、団体との連携・ネットワーク化</b> ・地域福祉推進ネットワーク会議の充実 (No.39・40) 関係機関や団体(行政・民児協・自治会・地域福祉推進組織等)による市域のネットワーク会議を開催し、連携して地域福祉活動の推進を図る。 ・関係機関や団体との情報の共有と連携 (No.41) 効果的な事業展開を図るため常に関係	・高齢者見守り隊事業の事業項目として取り組み、関係機関が連携して取り組む必要性から、地域福祉に関わる機関や団体によるネットワーク会議を2回開催すると共に地域福祉推進研修会を実施した。

機関・団体と連携することを基本とする。	
---------------------	--

《地域福祉推進ネットワーク会議・研修会》

	実施日	参加人数	内容
第1回会議	1月14日	13	社協事業計画・見守り隊事業説明・情報交換
第2回会議	3月27日	16	モデル地区活動報告 情報交換
研修会	3月27日	101	「自治、地域福祉、防災を一体にすすめる小地域福祉活動」他

基本目標②「安心して暮らせるためのしくみづくり」

I-1-1

事業名及び事業目的	取組み内容と実績
<b>わかる福祉情報の発信</b> (No. 42・43・45) ・福祉情報発信研究班の募集と班づくり ・わかる福祉情報発信のための研究 ・福祉情報発信者を対象とした研修会 ひとり暮らし老人や障害者等、情報が伝わりにくい方に、必要な情報をわかりやすく伝える仕組みを構築する。	・広報、ホームページや市のおしらせ版等を活用し情報提供に努めた。 ・わかりやすく情報を伝えるための福祉情報発信研究班をつくり、福祉施設や障害児者・子育て支援団体から広報に関するアンケート調査を行った。

I-1-2

事業名及び事業目的	取組み内容と実績
<b>支援活動のための個人情報の取り扱い</b> ・支援情報のための個人情報取り扱い要綱の施行 (No. 50) 地域住民による個別支援活動の推進を図るために、要配慮者等の個人情報の取り扱いについて理解を深める。	・本会が作成した「個人情報の取り扱い」を、福祉委員会研修会や住民懇談会等において福祉委員に説明し、活動に伴う個人情報取り扱い上の不安の解消や、正しい取り扱いについて周知した。

I-1-3

事業名及び事業目的	取組み内容と実績
<b>相談体制の再生と相談技術の向上</b> ・社協の新相談体制の確立 (No. 54) ・社協役職員の相談技術研修 (No. 55)	・市等の相談事業等の充実に伴い、本会の相談事業の利用は減少している。 ・小地域いきいきネットワーク活動事業の中で相談活動を実施し、10地区が具体的な相談活動を実施した。 ・相談者を理解すると共に、相談内容から課題を発見し解決につながるための研修会を実施した。 ・福祉委員の相談活動と結びつけた新たな相談体制の仕組みのきっかけとして、福祉委員が受け付けた相談を記録する「福祉カード」の利用を促した。

《研修会》

- (1) 日 時：7月23日（金） 場 所：市弥栄庁舎  
 内 容：講演「障害者が安心して暮らせる地域づくり」と意見交流
- (2) 日 時：11月24日（金） 場 所：市弥栄庁舎  
 内 容：講演「ひとりの支援活動をみんなへの支援に」  
 ・グループワークと意見交流

《心配ごと相談》

	件 数	内 容
峰 山	26	生計11 職業1 住宅1 教育2 老人6 健康5
大 宮	57	生計28 職業1 住宅1 財産1 教育11 老人14 他1
網 野	28	生計11 就業2 健康3 介護6 その他6
丹 後	4	苦情1 介護1 その他2
久美浜	21	生計12 就業3 健康2 教育2 その他2
弥栄(本所)	15	生計1 健康1 介護4 その他5 苦情4
合 計	151	生計63 就業5 教育15 健康11 介護11 苦情4 職業2 住宅2 老人20 財産1 その他15

I-14

事業名及び事業目的	取組み内容と実績
<p><b>地域で見守りネットワークの形成</b>  <b>重点事業</b>                      ・「地域で見守りネットワーク」づくり                      (No. 61)                      ひとり暮らし老人や障害者等、支援を必要とする方が地域の中で、安心して生活できるよう、地区、地域福祉推進組織等による見守り活動を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小地域いきいきネットワーク活動事業の基本活動として推進し、61地区が福祉対象者への見守り活動を具体的に行うと共に、32地区が対象者の調査活動を行った。</li> <li>・高齢者見守り隊事業において、昨年度の6地区に加え、新たに3地区をモデル指定する予定であったが、新規は1地区であった。</li> <li>・モデル地区では、地区の状況に応じた見守り活動が行われ、2年目の地区では活動内容の充実や体制強化が図られた。モデル指定終了後も地域の活動として定着するよう引き続き支援を行う必要がある。</li> </ul>

《地域要配慮者安心ネットワーク事業モデル地区》

21・22年度モデル地区	活 動	
峰 山	9 区	・要配慮者への日常的な見守り活動と、必用な支援
大 宮	三 重	・要支援者への見守り訪問の実施 ・「ご隠居さんの回覧板」をとおした高齢者どうしのふれあい活動
網 野	御 陵	・福祉マップと安心見守りカード作成による、要配慮者への見守り等 日常的な支援活動の実施 ・友愛訪問 ・広報紙の発行
丹 後	中 浜	・友愛訪問による要配慮者の把握と見守り体制づくり ・福祉ニーズ把握のためのアンケート調査
弥 栄	黒 部	・要配慮者の日常の安否確認として、「安心旗」の作成と運用 ・要配慮者への見守り活動の回数増加
久美浜	新 谷	・見守り活動の一環とした「ふれあいサロン」の開催 ・独居の方等、支援を必要とする高齢者に緊急時、災害時に役立つよう緊急時キットの配布

22・23年度モデル地区		活 動
丹 後	谷	・火災に備え要支援者台帳の作成し、支援者の日常的な見守り支援の実施

### I—15

事業名及び事業目的	取組み内容と実績
<b>子育て支援活動ネットワークの形成</b> ・「子育て支援活動ネットワーク」づくり (No. 64) 子育てに関する事業や取組みを行う機関や団体が情報を共有し、連携しながら子育て支援ができる体制づくりを進める。	・子育て支援関係者による懇談会を開催し、情報の共有と連携のあり方等について協議した。 ・複数の町の合同開催としたことで、他町の取組みを知ることができ、新たな連携や活動につなぐ機会となった。

《子ども・子育て関係機関・団体懇談会の開催》

	実 施 日	参加機関・団体
峰山・大宮 合同	3月4日	地域公民館・子育て支援センター・峰山乳児院・乳児院付設幼児寮・主任児童委員・母子寡婦会・はとひよクラブ・子育てサロン(口大野・上常吉・周枳・河辺・善王寺)
網野・丹後 ・弥栄合同	3月10日	3町の子育て支援センター・主任児童委員・母子寡婦会・地域公民館・育児サークル
久美浜	3月9日	子育て支援センター・主任児童委員・地域公民館・市健康推進課・子育てサロン

### I—16

事業名及び事業目的	取組み内容と実績
<b>災害時等福祉救援マニュアルづくりと運用</b> ・市との連携によるマニュアル運用 (No. 76・81) 京丹後市災害時要援護者避難支援プラン(マニュアル)に基づいた要援護者支援及び災害復旧を円滑に行うための研修を市と連携して進める。	・京丹後市災害時要援護者避難支援プランにおける本会の役割を確認するとともに、支援プランに基づき市や区と連携を取りながら、地域福祉推進組織を機能させた訓練を行った。

《災害時要援護者避難支援訓練》

日 時：3月27日 場 所：吉沢公民館 参加者：60人

内 容：訓練 要援護者への避難の呼びかけと避難支援

講座 災害について(京丹後市社会福祉協議会)

認知症について(京丹後市地域包括支援センター)

協 力：吉沢区

### I—17

事業名及び事業目的	取組み内容と実績
<b>災害ボランティアセンター運営マニュアルの見直しと訓練 重点事業</b> ・マニュアルの見直し (No. 84) 災害が起きたとき、迅速に救援活動が行えるよう、平時から取組みを進める。	・災害発生時、円滑なセンター運営が行えるよう、マニュアルの検討見直しを行った。 ・災害ボランティア事前登録について機会あるごとに周知し募集を行い個人18人、団体6団体(309人)の登録があった。

基本目標③「人と人が豊かにふれあう環境づくり」

I-18

事業名及び事業目的	取組み内容と実績
<p><b>ふれあいサロンの設置と活動の充実</b> <b>重点事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動支援内容の見直し (No. 86)</li> <li>・活動担い手交流研修会 (No. 87)</li> <li>・参加者ニーズの発見 (No. 88)</li> <li>・地域主催サロン推進 (No. 90)</li> <li>・当事者サロン全市普及 (No. 92)</li> <li>・ボランティアなど主催サロン支援 (No. 93)</li> </ul> <p>人と人との「ふれあいの場」として、地域住民主体の高齢者ふれあいサロンや、さまざまな形態のサロンの設置と活動を推進し、地域や団体の活動として定着させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉委員会や福祉委員研修会等により、助成金の申請案内を行い、各種サロンの設置推進を図った。</li> <li>・活動内容の充実や課題解決を図る機会として、町に応じた内容でサロン担い手研修会を開催すると共に、住民へのサロン理解と活動を広げることを目的に、広報紙で全サロンを紹介した。</li> <li>・昨年度実施した「サロン参加者アンケート」の結果を、地域福祉委員会やサロン担い手研修会等で報告し、参加者ニーズを共有することができ、参加者が求めるサロン活動となるよう活かした。</li> <li>・サロン活動への協力者を増やすために、サロンサポーター養成研修を開催した。</li> <li>・当事者サロン、ボランティア主催サロンにレクリエーション道具の貸出等、必要な支援を行ったが、新たな設置は無かった。</li> </ul>

《地域主催サロン》 前年度比：実施地区数 2地区減 サロン数 2減

	実施地区数	サロン数	実施回数	延べ参加人数
峰山	17	17	167	3,735
大宮	9	14	158	2,511
網野	14	15	164	2,578
丹後	24	24	159	3,049
弥栄	13	13	130	2,400
久美浜	6	6	44	822
合計	83	89	822	15,095

※サロン区分：区民44 高齢者39 子育て6

《当事者・ボランティア主催サロン》 前年度比：障害者1増 児童青少年1減

	サロン数	実施回数	延べ参加者数
高齢者	6	102	1,742
障害者	4	33	525
児童青少年	6	109	1,926
自宅開放	2	22	265
合計	18	266	4,458

《ふれあいサロン担い手研修会》

	実施日	参加人数	内容
峰山	9月1日	27	『転ばん体操』・『サロンメニュー紹介』情報交換

大 宮	7月13日	41	認知症サポーター養成講座・意見交換
網 野	9月24日	22	講演「住みなれた地域で家族や友人・知人たちと共にして、安心して暮らし続けたい」 分科会 サロン体験（新聞ちぎり絵・体操）
丹 後	10月4日	43	『転ばん体操』・『安心して安全に暮らすために』
弥 栄	6月10日	42	サロン実施状況・転ばん体操・意見交流
久美浜	10月5日	22	『転ばん体操』・歌・情報交換

### I—19

事業名及び事業目的	取組み内容と実績
<b>小地域ふれあい活動の推進 重点事業</b> ・活動の推進 (No. 96) 地域福祉推進組織や福祉委員による住民の主体的な小地域福祉活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉委員や地域福祉推進組織による小地域いきいきネットワーク事業を101地区が取り組み、地域に応じた活動を実施した。</li> <li>・基本活動と重点活動は相談（10地区）・見守り（61地区）・調査（32地区）が実施され要配慮者への具体的な支援活動が増えてきた。</li> <li>・久美浜町は地域福祉活動支援事業で小地域福祉活動の充実を図った。</li> <li>・活動を広げるにあたり、市内の活動を撮影し、DVDを作成したが、全町の内容でないので、今後も撮影を行い、効果的に活用する。</li> </ul>

《小地域いきいきネットワーク活動事業・地域福祉活動支援事業》

前年度比：小地域いきいきネットワーク活動事業実施地区 1減

地域福祉活動支援事業実施地区 9増

	小地域いきいきネットワーク活動事業実施地区	地域福祉活動支援事業実施地区	事業数	参加者延べ人数
峰 山	23		77	1,659
大 宮	15		55	1,245
網 野	20		31	2,981
丹 後	27		81	2,150
弥 栄	15		51	1,321
久美浜	1	58	109	8,274
合 計	101	58	404	17,630

### I—20

事業名及び事業目的	取組み内容と実績
<b>世代間交流活動の推進</b> ・活動の推進 (No. 97) 各世代にとって効果的である世代間交流を推進する。 ※小地域いきいきネットワーク活動事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小地域いきいきネットワーク活動事業の重点活動として、地区での世代間交流活動の推進を図り、67地区が実施した。環境美化等、幅の広い年齢が参加できる交流プログラムが増えた。</li> <li>・福祉教育推進事業助成事業として保育園児、小中学校児童生徒による高齢者福祉施設利用者、地域高齢者等との交流活動を推進し、施設訪問</li> </ul>

	等による交流が広がった。
--	--------------

## I-21

事業名及び事業目的	取組み内容と実績
<b>当事者組織の組織化と活動支援</b> ・組織調査とニーズの把握 (No. 100・101) 当事者組織の現状及びニーズを把握し支援策を検討する。 ・組織化支援・組織活動支援 (No. 102・103) 組織化と組織の活動を支援し、当事者組織の機能を活用した課題解決を進める。	・当事者組織の活動支援として助成やレクリエーション用具・部屋の貸し出しを行った。 ・障害児者福祉施設・団体懇談会を複数の町の合同開催として実施し、組織状況やニーズを把握し情報交換等を行った。 ・父子会事業に参加し、状況を把握すると共に関係機関との連絡調整等必要な支援を行なった。

### 《障害児者福祉施設・団体懇談会》

	実施日	参加機関・団体
峰山・大宮合同	2月23日	みねやま作業所・おおみや共同作業所・あゆみが丘学園・障害児者多機能型生活支援センターろむ・障害者生活支援センター結・障害者地域生活支援センターもみの木・身体障害者更生会・峰山町手をつなぐ親の会・大宮町障害児(者)を守る会・ばんぷきっず・あけぼの会
網野・丹後・弥栄合同	3月10日	網野町身体障害者更生会・障害児者の生活と権利を守る会・障害者サロンつばみ会・自閉症児を育てる会・桃山の里・高天の森・丹後視力障害者センター・丹後町身体障害者更生会・京丹後市身体障害者連合会・丹後町手をつなぐ親の会・ゆうゆう作業所・弥栄町障害児者を守る会・障害者サロン「ふたば会」
久美浜	2月28日	かがやきの杜・久美浜町身体障害者更生会・久美浜町手をつなぐ親の会

## I-22

事業名及び事業目的	取組み内容と実績
<b>広域福祉活動支援事業 重点事業</b> 複数の機関や団体等が連携して取り組む形態である福祉的な活動を支援し、広域な福祉活動の推進を図る。	・取り組みやすく、より効果的な事業となるよう要綱の見直しを行った。 ・新規は1事業だけであったが、2年度目の事業と合わせて、活動を支援し、新たな形態での福祉活動を広げることができた。

### 《広域福祉活動支援事業》

#### (1) 2年度目事業

- ①実施団体 ・峰山町民生児童委員協議会 ・京丹後市母子寡婦福祉会峰山支部  
           ・峰山乳児院
- ②実施範囲 峰山町域
- ③事業名 峰山町におけるひとり親家庭が安心して生活できる地域づくり
- ④内容 イ 関係団体の構成者によるサロンの開催  
           ロ 行事を通じた、ひとり親家庭の交流や情報提供
- ⑤補助額 173,004円

(2) 新規事業

- ①実施団体 ・郷地区連合区々長会・網野町民生児童委員協議会郷地区協議会  
・郷地区福祉委員会
- ②実施範囲 郷小学校域
- ③事業名 郷地区の住民が安心して暮らせる地域づくり
- ④内 容 安心カードの作成・活用の取り組み
- ⑤補助額 91,486円

基本目標④「地域生活を支えるサービスづくり」

I-23

事業名及び事業目的	取組み内容と実績
<p><b>住民が担い手となって行うサービス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発方法についての検討・サービスの立ち上げと実施 (No. 107・109～111)</li> <li>・住民参加型相互援助サービス事業</li> <li>・雪下ろし・雪すかし事業 (在宅生活支援事業)</li> </ul> <p>地域住民が、地域の中で安心して生活できる仕組みとして、住民が担い手となって行なうサービスの充実と開発を行なう。</p>	<p>住民参加相互援助サービス事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者、協力者共1名のみでの対応で継続していたが、利用状況に応じた協力員の確保、調整が非常に困難となったため、同様のサービスを実施しているシルバー人材センターへ次年度から移行する。</li> </ul> <p>雪下ろし・雪すかし事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区長、関係機関等へ説明を行い、事業の理解と周知に努めた。</li> <li>・今年は例年になく大雪のため活動が多かった。</li> <li>・府と市から雪害対策事業の交付金を受けた。</li> </ul>

《住民参加型相互援助サービス》(丹後町)

	時 間	利用人数	協力人数	内 容
身体介助	23.5	1	1	通院介助

I-24

事業名及び事業目的	取組み内容と実績
<p><b>福祉サービス利用援助事業</b> (No. 113・114・115・117)</p> <p>各種福祉サービスの利用や日常的な金銭管理に関して、自分ひとりでは判断が難しい方々が地域で安心して暮らせるために支援する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が抱えている生活課題も複雑化してきているが、行政や福祉、医療等の関係機関のほか、地域関係者と連携を図りながら事業を実施した。</li> </ul>

《実績》

(1) 福祉サービス利用援助事業の実施体制 (人) 前年度比：増減なし

専門員 (本会職員)	2
生活支援員 (年度末の登録者数)	34

(2) 問合せ・初回相談件数 前年度比：問い合わせ29件増 初回相談11件増 (件)

	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精 神 障害者等	その他	合 計
問合せ件数 (制度、事業について)	14	2	3	15	34

初回相談件数 (初回相談受付)	19	6	2	6	33
--------------------	----	---	---	---	----

(3) 相談・連絡調整活動の実施状況 (契約前・契約終了後含む) 前年度比: 372件増 (件)

	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	その他	合計
相談・連絡調整件数	2,580	2,288	2,796	1,265	8,929

(4) 利用者の状況

前年度比: 新規17人減 契約終了・解約2人減 実利用者9人増 (人)

	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	その他	合計
新規利用者数 (本年度)	4	3	2	3	12
契約終了・解約者数	3	0	0	0	3
実利用者数 (年度末現在)	29	20	15	15	79

(5) 研修会

① 相談支援研修・生活支援員研修

日時: 7月23日 場所: 市弥栄庁舎

参加者: 生活支援員19人 (30人の内)

内容: 講演「障害者が安心して暮らせる地域づくり」

社会福祉法人よさのうみ福祉会 障害者生活支援センター結  
相談支援専門員 沖上みゆき氏

② 役職員研修・相談支援研修

日時: 11月24日 場所: 市弥栄庁舎

参加者: 役員他10人・生活支援員18人 (33人の内)

内容: 講座「ひとりへの支援活動をみんなへの支援に」

同志社大学 社会学部 社会福祉学科 専任講師 永田祐氏

③ 事例研究の方法についての研修会

日時: 3月18日 場所: 網野健康福祉センター「ら・ぼーと」

参加者: 網野町内の社会福祉事業所職員14人

内容: DVD「対人援助のための合同ケースカンファレンスの方法」を利用し、事例研究の意義、基本的枠組み、事例のまとめ方などについての研修を行う

I-25

事業名及び事業目的	取組み内容と実績
<b>本会主体の地域生活支援事業</b> ・事業の実施や普及・啓発、事業内容の評価 (No. 113~115・117) ・福祉有償運送事業 (在宅生活支援事業) ・生活福祉資金貸付事業 (生活支援事業) 住民の日常生活を支援する本会主体事業を、より効果的な事業となるよう、市や関係機関と連携しながら運用する。	<b>福祉有償運送事業</b> ・広報紙やホームページ等に事業内容を掲載し、事業の周知を図り、適切で安定した事業運営を行うため運行体制のあり方について協議を行った。 ・高齢者日常生活支援事業として、本事業利用者のうち、市民税非課税世帯の高齢者に対して1万円を限度として利用料の減免を行った。 <b>生活福祉資金貸付事業</b> ・民生委員の定例会で資金の説明を行い理解を

	深めた。 ・広報紙やホームページ、市おしらせ版に掲載し周知した。
・共同募金事業（No. 118・119） 誰もが安心して暮らすことができる地域づくりを進めるため、効果的な募金活動と事業の実施を住民をはじめ関係機関と連携しながら進める。	・募金活動実施前に募金会と検討し、関係者の理解と協力を得ながら進めた。 ・共同募金配分事業や歳末たすけあい運動の配分内容を検討し、新たに歳末家事援助サービスを関係機関と連携し効果的に実施した。

《共同募金活動》前年度比：1,082,888円増（戸別37,069円減、街頭15,163減、職域96,906円増、法人202,000円増、イベント10,272円減、募金箱他846,486円増）（円）

戸別募金	7,662,859	職域募金	443,522
街頭募金	283,208	イベント募金	8,009
法人募金	1,249,000	募金箱 その他	1,060,610
合 計			10,707,208

《共同募金配分事業》京都府共同募金会より7,073,028円の配分金を受け事業を実施した。（円）

区 分	事 業 名 (件数)	金 額
高齢者	高齢者当事者団体活動助成 (3)	75,000
	高齢者サロン活動助成 (6)	180,000
障害児者	障害児者当事者団体活動助成 (20)	590,000
	障害児者サロン活動助成 (4)	99,000
児童青少年	児童当事者団体活動助成 (7)	150,000
	子育てサロン活動助成 (6)	168,000
住民全般	自宅開放型サロン活動助成 (2)	132,000
	中学校福祉教育推進事業 (9)	234,100
	小学校福祉教育推進事業 (30)	506,400
	幼稚園福祉教育推進事業 (3)	24,300
	保育所福祉教育推進事業 (27)	293,500
	地域子ども見守り活動助成 (26)	295,000
	小地域新規組織設置助成 (3)	15,000
	小地域いきいきネットワーク活動助成 (101)	2,461,800
	社協広報紙発行2回分	270,080
	ホームページ管理費	15,880
	住民懇談会	100,251
	社会福祉体験学習事業	91,495
	学校福祉教育への協力	5,830
	福祉のまちづくり研修会	374,617
	サロン担い手研修会	49,042
	サロンサポーター養成講座	17,829
	新規ボランティア講座	31,342
企業ボランティア講座	53,884	

	災害時要援護者避難支援訓練	19,599
	福祉教材DVD（6）	94,500
	スピーカー	6,980
	体験用アイマスク（80）	16,065
	高齢者疑似体験セット（2）	166,320
	小地域・サロン活動支援の備品（9）	189,294
	防災用ヘルメット（50）	118,150
	事業に係る通信運搬費・手数料	32,770
	パソコン・ソフトウェア他（前年度未実施分）	195,000
	合 計	7,073,028

《歳末たすけあい募金》前年度比：戸別155,924円減、窓口10,214円増、篤志寄付61,706円増  
(円)

募金内訳	金 額
戸別募金	7,602,605
窓口募金箱	22,422
篤志寄付	401,318
前年度未交付金	319,771
合 計	8,346,116

《歳末たすけあい配分》 (円)

配 分 先	件 数	金 額
要生活支援世帯	440	5,433,000
(加算) 乳幼児	5	10,000
保育所・幼稚園児	9	18,000
小学生	66	132,000
中学生	45	90,000
高校生	54	216,000
専門/大学生	14	56,000
長期療養者	90	630,000
在宅障害児者	129	903,000
単親世帯/父母のいない世帯	64	320,000
家事援助サービス	7	12,096
障害者施設	1	50,000
事務費		109,866
次年度への繰越金		366,154
合 計		8,346,116

## 基本目標⑤「みんなと共に歩む社協組織づくり」

### I—26

事業名及び事業目的	取組み内容と実績
<p><b>活動理念と目標設定</b>                      <b>重点事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>活動理念と目標などの役員・職員合同協議 (No. 120) 地域の福祉力向上を目指し、役職員間で理念・目標の共有化を図る。</li> <li>本会事業、活動の検討                      (No. 121) 将来の組織機構も含めて本会の事業や活動のあり方を検討する。</li> <li>地域住民、行政、福祉関係機関との連携強化や情報の共有化方策の検討 (No. 122) 関係機関等とのネットワークを図る。</li> <li>住民、福祉関係者との座談会・研修会・説明会 (No. 123) 地域の福祉課題(ニーズ)の把握や社協への理解、協力促進を図る。</li> <li>役員、職員研修会、職場内研修の実施 (No. 125) 役職員の学習の機会を設け資質向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動理念や組織について役員・職員合同協議ができなかった。職員倫理綱領は作成した。</li> <li>地域福祉推進ネットワーク会議を開催した。</li> <li>福祉関係機関、団体との座談会等の開催ができなかった。</li> <li>市丹後老人福祉センター松風苑の指定管理について引き続き5年間の指定を受けた。</li> <li>地域福祉資金を活用した新たな事業として、敬老祝いを新年度から実施することとし、卒寿(数え年90歳)を対象者とした。</li> <li>住民懇談会を開催した。</li> <li>役職員研修は、社協の組織・事業・財政についての研修や、地域福祉の実践発表が行われる第4回全国校区・小地域福祉活動サミットin松江へ参加した。</li> </ul>

### I—27

事業名及び事業目的	取組み内容と実績
<p><b>本会活動などの住民への周知・公聴活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査・公聴活動の実施 (No. 128・129) アンケートや懇談会を通じて地域のニーズや社協活動への評価や意見を把握する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民懇談会では参加者の意見や要望等を聴いた。</li> <li>広報紙発行やホームページ等で活動の周知を図った。</li> </ul>

### I—28

事業名及び事業目的	取組み内容と実績
<p><b>組織・管理体制の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>組織体制の検討再構築                      (No. 130)</li> <li>「危機管理体制マニュアル」の作成 (No. 131)</li> <li>「危機管理体制マニュアル」による危機管理の実施 (No. 132) 組織体制を再構築すると共に危機管理体制の強化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本会の組織機構について、役員を選出区分や部会・委員会機能の見直しを図った。</li> <li>福祉サービス利用援助事業の業務について内部監査をした。</li> </ul>

#### 《会議開催状況》

##### ①理事会

- 第1回 4月20日：市弥栄庁舎

内容：評議員の選任について、事務局規程の一部変更について、職員給与規程の一部変更について、広域福祉活動支援事業補助金交付要綱の一部変

更について

- ・第2回 5月21日：市弥栄庁舎  
内容：評議員の選任について、平成21年度事業報告（案）及び収支決算（案）について（監査報告）、役員及び評議員・各委員の報酬及び費用弁償に関する規程の一部変更について
  - ・第3回 6月10日：市弥栄庁舎  
内容：会長の選任について、副会長の選任について、職務代理者の指名について、常務理事の指名について
  - ・第4回 6月25日：市弥栄庁舎  
内容：部会及び委員会規程の一部変更について、部会及び委員会所属理事の協議と承認について
  - ・第5回 7月12日：市弥栄庁舎  
内容：京丹後市丹後老人福祉センター松風苑の指定管理者申請について、地域福祉資金規程の一部変更について、広域福祉活動支援事業補助金交付要綱の一部変更について
  - ・第6回 11月26日：市弥栄庁舎  
内容：職員給与規程の一部変更について、慶弔見舞規程の一部変更について、経理規程の一部変更について、嘱託及び常勤を要しない職員の取り扱い規程の一部変更について
  - ・第7回 2月16日：市弥栄庁舎  
内容：評議員の補充選任について、福祉有償運送事業利用料金要領の一部変更について
  - ・第8回 3月23日：市弥栄地域公民館  
内容：就業規則の一部変更について、福祉サービス利用援助事業生活支援員就業規則の一部変更について、経理規程の一部変更について、嘱託及び常勤を要しない職員の取り扱い規程の一部変更について、ボランティアセンター設置運営規程の一部変更について、福祉サービス利用援助事業生活支援員設置要綱の一部変更について、敬老祝事業について、平成22年度会計収支補正予算（案）について、平成23年度事業計画（案）について、平成23年度会計収支予算（案）について
- ②役員研修会 6月16日、18日：社会福祉協議会、事業計画、第1次地域福祉活動計画について
- 7月27日：地域福祉資金について
- 9月4日～5日：第4回全国校区・小地域福祉活動サミット in 松江  
平成22年度ふれあいいきいきサロン全国研究交流集会  
役職員20名参加

### ③評議員会

- ・第1回 5月28日：市弥栄地域公民館  
内容：平成21年度事業報告（案）及び収支決算（案）について（監査報告）役員の選任について

- ・第2回 3月30日：市弥栄地域公民館  
内容：役員の補充選任について、平成22年度会計収支補正予算（案）について、平成23年度事業計画（案）・会計収支予算（案）について

④監査会

- ・平成21年度決算監査会5月11日・12日：市弥栄庁舎、ふくじゅ

⑤総括部会

- ・第1回 5月14日：市弥栄庁舎

⑥法人運営部会

- ・第1回 6月25日：市弥栄庁舎
- ・第2回 11月 4日：市弥栄庁舎
- ・第3回 12月20日：市弥栄庁舎
- ・第4回 2月23日：市弥栄庁舎
- ・第5回 3月14日：市弥栄庁舎

⑦地域福祉・ボランティア部会

- ・第1回 6月25日：市弥栄庁舎
- ・第2回 7月12日：市弥栄庁舎
- ・第3回 10月 4日：市弥栄庁舎
- ・第4回 2月18日：市弥栄庁舎

⑧広報委員会

- ・第1回 4月26日：市弥栄庁舎
- ・第2回 5月10日：市弥栄庁舎
- ・第3回 7月12日：市弥栄庁舎
- ・第4回 8月23日：市弥栄庁舎
- ・第5回 10月19日：市弥栄庁舎
- ・第6回 12月13日：市弥栄庁舎
- ・第7回 2月14日：市弥栄庁舎

⑨生活福祉資金貸付調査委員会

- ・第1回 5月20日：市弥栄庁舎

⑩ボランティア基金委員会

- ・第1回 6月25日：市弥栄庁舎
- ・第2回 7月 2日：市弥栄庁舎
- ・第3回 8月11日：市弥栄庁舎
- ・第4回 3月 1日：市弥栄庁舎

⑪支所運営委員会

峰山（5回）、大宮（4回）、網野（4回）、丹後（4回）、弥栄（2回）、久美浜（5回）

⑫資金管理運営委員会 弥栄（2回）

I—29

事業名及び事業目的	取組み内容と実績
<p><b>財政基盤づくり 重点事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財政基盤の検討委員会の設置 (No. 133)</li> <li>・財政基盤強化活動の評価・点検 (No. 134) 財政基盤の強化についてさまざまな角度から検討を行い、基盤強化の方法を探る。</li> <li>・社協会員についての見直し・会員増強、啓発活動 (No. 136～137) 会員の減少についての原因、問題点を探り、会員制度の見直しも含めて自主財源の確保に努める。</li> <li>・寄付、基金運用についての検討・寄付につ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政基盤の強化や会費の見直しを行う委員会について検討した。</li> <li>・会員への啓発活動については、広報紙やホームページでPRした。</li> <li>・会員は一般会員、賛助会員とし、各区を通じて加入促進を図った。</li> <li>・福祉基金の運用について、定期預金から国債、地方債への切替を行った。</li> <li>・ボランティア基金は、ボランティア基金委員会で運用している。</li> <li>・寄付金について、広報紙や新聞への掲載による啓発を行った。</li> <li>・助成金について申し込みはしたが、不採用</li> </ul>

いての啓発 (No. 138・139) 寄付金や地域福祉基金の運用及び有効な活用を検討し周知に努めることで理解を広げる。 ・助成金活用 (No. 140) 助成金を活用し自主財源の減少を防ぐ。	となった。
---	-------

《会費》 前年度比：161件減（一般会員148件減 賛助会員13件減）

区分 支所名	一般会員		賛助会員		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
本 所	0	0	4	98,000	4	98,000
峰山支所	3,253	3,268,000	51	236,000	3,304	3,504,000
大宮支所	2,556	2,705,000	23	123,000	2,579	2,828,000
網野支所	2,889	3,006,000	178	658,000	3,067	3,664,000
丹後支所	1,749	1,761,000	65	222,000	1,814	1,983,000
弥栄支所	1,498	1,654,000	28	157,000	1,526	1,811,000
久美浜支所	2,771	2,845,000	33	178,000	2,804	3,023,000
合計	14,716	15,239,000	382	1,672,000	15,098	16,911,000

《寄付金等》

- (1) 福祉のまちづくりや地域福祉活動に対する市民の皆さんから寄せられた寄付金は、合計110件、金額は6,241,838円（前年度127件、6,612,222円）であった。
- (2) 京丹後ロータリークラブから福祉車両1台の寄贈を受けた。

### I-30

事業名及び事業目的	取り組み内容と実績
<b>活動計画の推進</b> ・計画周知 (No. 142) 地域福祉活動計画を住民に周知するためあらゆる機会でご報告する。 ・計画点検・評価委員会の設置・点検 (No. 145) 住民並びに関係機関の視点による活動計画の進捗状況と効果の検証を行い、計画的に事業展開を図る。	・計画の周知については、各地区で開催した福祉委員研修会や住民懇談会での説明の他、本会広報紙やホームページにも掲載した。 ・活動の進捗状況や達成度を評価する評価委員会を設置し、評価と点検と課題の整理を行った。

### I-31

事業名及び事業目的	取り組み内容と実績
<b>福祉サービス事業運営の検討 重点事業</b> ・福祉サービス（受託・自主など）の検討 (No. 146) ・自己評価、第三者評価について検討 (No. 147) ・苦情対応システムの実施 (No. 149) 福祉サービス事業について今後のあり方も含めて検討する。苦情対応システムの実施によりサービスの質の向上を図る。	・介護サービス等、受託事業の今後のあり方や検討について市へ要望した。 ・網野通所介護事業が第三者評価について実施した。 ・苦情対応システムについて実施した。

## 4. 事業概要Ⅱ（在宅福祉サービス事業）

### （1）健康・生きがいつくり事業

#### Ⅱ－1

事業名及び事業目的	取り組み内容と実績
<b>京丹後市網野高齢者すこやかセンター管理運営事業</b> （受託） 在宅の高齢者に対して生きがいや健康の保持の場を提供し、高齢者福祉の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度実施した利用者アンケートの結果を活かしサービス向上に努め、温泉入浴利用者が増加した。</li> <li>・貸部屋は計49回、延べ577人が利用。主に趣味活動や団体の会合などで利用があった。</li> <li>・年度末で市の受託業務を終了した。</li> </ul>

《実績》 延べ利用者人数 前年度比：772人増 (人)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用者人数	1,496	1,224	1,289	1,205	1,162	1,337	702	1,347	1,356	1,456	1,612	1,925	16,339

#### Ⅱ－2

事業名及び事業目的	取り組み内容と実績
<b>京丹後市丹後老人福祉センター管理運営事業</b> （指定管理） 高齢者が自主的に教養講座やレクリエーション活動等を通して心身の健康を保持推進し、介護予防を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての部屋の畳の表替えを行った。</li> <li>・広報紙で施設を紹介し、他町からの入浴利用者が増加した。</li> </ul>

《実績》 延べ利用者人数 前年度比：1,149人減 (人)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
部屋利用者	182	146	81	36	42	107	94	67	61	147	36	174	1,173
すこやか大学	-	22	51	64	28	81	63	42	53	12	39	38	493
鍼灸	-	246	130	142	61	16	150	220	108	-	35	41	1,149
温泉入浴者	311	283	229	287	234	277	167	-	203	248	297	115	2,651
合計	493	697	491	476	365	481	474	328	425	407	400	357	5,447

#### Ⅱ－3

事業名及び事業目的	取り組み内容と実績
<b>すこやか大学事業</b> （受託） 高齢者の豊かな経験と知識・技能等を活かし、一人ひとりの学習意欲に応じた講座を設けることにより、高齢者の生きがいつくりと社会参加を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生きがいつくりや仲間づくりの場となるように、参加しやすい環境を整えた。</li> <li>・法話については木曜日に開校し、前日に防災行政無線で案内し、多くの参加があった。</li> </ul>

《実績》 延べ参加人数 前年度比：97人増

	俳句	生花	手芸	書道	詩吟	園芸	カクワ	法話	料理	囲碁	GB※	GG※	開/開校式
参加人数	37	66	71	54	45	42	121	76	91	55	46	87	68
講座回数	7	7	7	7	7	7	7	3	3	4	1	1	2

※ GB ゲートボール ※ GG グラウンドゴルフ

## II-4

事業名及び事業目的	取り組み内容と実績
<b>鍼灸事業</b> （地域福祉基金） 高齢者を始めとして健康の保持促進に不安のある方や体力の維持向上を図るため、鍼灸事業を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明治国際医療大学と協力して実施し、地域に密着した事業として多くの利用があった。</li> <li>・チラシの配布や大学による講座の開催で普及・啓発を行い新規の利用者が増加した。</li> </ul>

- 《実績》 ① 学生による実習 17回（51日間）  
 教授によるボランティア指導 2回（4日間）
- ② 延べ利用人数 580人（前年度比：125人減）
- ③ 学生/教授延べ人数 564人（前年度比：57人減）

### (2) 介護予防事業

## II-5

事業名及び事業目的	取り組み内容と実績
<b>生きがい活動支援通所事業</b> （受託） 家に閉じこもりがちな在宅の高齢者に対し、送迎・生活指導・給食サービス・アクティビティ等のサービスを提供し、高齢者が生きがいを持って自立した生活を送ると共に心身機能の維持向上を図ることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生きがいづくりと日常生活の活性化につながることを目標に、効果的なプログラムを実施した。</li> <li>・きめ細やかな対応を心がけ、利用者の心身機能の維持向上に努めた。</li> <li>・地域包括支援センターと連携し、利用者と家族への連絡や訪問を行なった。</li> <li>・介護保険への移行者が多く実人員が減った。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の健康増進と生きがいづくりにつながるプログラムを実施した。</li> <li>・季節に合わせた行事やレクリエーション等で楽しい時間を過ごし、心身機能の維持向上に努めた。</li> <li>・在宅保健師の協力により健康体操や相談を行なった。</li> </ul>

《実績》 大宮 延べ利用人数 前年度比：4人減

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用人数	325	288	335	317	321	340	307	326	305	306	331	382	3,883
延べ実施日数	19	18	22	21	21	20	20	20	17	18	19	22	237

久美浜 延べ利用人数 前年度比：6人減

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用人数	108	89	95	93	71	100	94	80	94	94	82	100	1,100
延べ実施日数	9	7	9	9	7	9	8	7	8	8	7	9	97

### (3) 在宅生活支援事業

## II-6

事業名及び事業目的	取り組み内容と実績
<b>食の自立支援サービス事業</b> （受託） 高齢者や障害等で食事の調理が困難な方や様々な病態に対応した食事が必要な方を中心に、配食サービスを通じて栄養改善や生活支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病態食や個別対応の新規利用者が増加した</li> <li>・個々の利用者に適した食事を提供した。</li> <li>・配達時における安否確認を実施した。</li> <li>・サービスの向上のため研修会に参加した。</li> </ul>

《実績》 配食数 前年度比：6,044食増

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用人数		77	79	78	78	87	85	87	88	85	78	82	83	987
配食数	朝食	201	240	209	230	245	228	244	254	218	196	159	172	2,596
	昼食	1,140	1,069	992	1,052	1,087	1,119	1,267	1,213	1,236	1,112	1,070	1,175	13,532
	夕食	1,007	1,117	1,084	1,144	1,249	1,242	1,373	1,278	1,238	1,075	1,122	1,166	14,095
合計配食数		2,348	2,426	2,285	2,426	2,581	2,589	2,884	2,745	2,692	2,383	2,351	2,513	30,223

II-7

事業名及び事業目的		取り組み内容と実績	
<b>軽度生活援助事業</b> (受託) 在宅の高齢者及び障害者が住み慣れた地域社会の中で自立した生活を継続していくことを支援し、高齢者等の福祉向上を図る。	大宮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 援助員確保が難しく、事業の安定した実施が困難な状況になった。</li> <li>・ 安定した支援のため、地域包括支援センターやシルバー人材センターと連携して実施した。</li> <li>・ 利用者2人 援助員2人</li> </ul>	
	網野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域包括支援センターと連携して実施した。</li> <li>・ 利用者4人 援助員3人</li> <li>・ 年度末で市の受託業務を終了した。</li> </ul>	

《実績》 利用回数 前年度比：大宮99回減 網野7回減

		大宮	網野
利用登録人数		2	4
実利用人数		2	4
利用回数		28	153
利用時間数		28	205
内容	家事援助(家事全般)	28	153
	その他(安否確認・話し相手等)	0	0

II-8

事業名及び事業目的		取り組み内容と実績	
<b>福祉有償運送事業</b> 一般の公共交通機関等を利用することが困難な方に対し、利用者の居宅と医療機関、公共機関等との間を移送用車両で送迎し、在宅福祉の向上を図る。	大宮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の調整を担当する支所を中心に需給調整を行い、利用者の外出ニーズに対応した。</li> <li>・ 実利用者数、利用回数ともに前年度より増加した。</li> <li>・ 運転協力者研修交流会・・・7月4日、25人参加、講義と実技指導、交流を行った。</li> <li>・ 利用者の身体状況や、車両の老朽化を考慮し、支所間で車両の配置換えを行った。</li> <li>・ 京都府、京丹後市の補助により、新規車両を1台購入した。また、京丹後ロータリークラブより車両1台の寄贈を受け、登録車両を22台に増車して運行を行った。</li> <li>・ 担当者会議を定期開催し、支所間の意見交換等を行った。</li> </ul>	
	網野		

	・高齢者日常生活支援事業として、本事業利用者のうち、市民税非課税世帯の高齢者に対して利用料の減免を行った。
--	---

《実績》

(1) 利用登録人数 前年度比：69人増

	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計
人数	122	136	143	69	79	94	643

(2) 実利用人数 前年度比：20人増

	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計
人数	70	90	79	38	44	60	381

(3) 利用実日数 前年度比：増減なし

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	26日	26日	26日	27日	26日	26日	26日	26日	27日	26日	24日	27日	313日

(4) 利用回数 前年度比：637回増

行き先別内訳	医療機関 14,657回	公共機関等 8回	その他 6回	合計
対象別内訳	高齢者 5,047回	人工透析 8,826回	障害者 798回	14,671回

## II-9

事業名及び事業目的	取り組み内容と実績
<b>雪下ろし・雪すかし事業</b> 大雪の被害により日常生活に支障をきたす高齢者世帯及び障害者世帯等に対して、降雪状況や家屋の状況等を勘案し、雪下ろしや雪すかしを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区が実施体制を整備し、生活道路の除雪に取り組んだ。</li> <li>・実施協力や積極的な運用のため、区長会等で依頼した。</li> <li>・ボランティア協力者を確保しやすくするため、区外の人の登録や近隣の区同士の協力も呼びかけ、実施しやすい体制整備に努めた。</li> <li>・例年にない大雪となり、例年より多くの地区で活動があった。</li> <li>・雪害対策事業として府と市から交付金を受けた。</li> </ul>

《実績》 前年度：9地区 雪下ろし1件・雪すかし35.5時間 活動者18人

	地区数	雪下ろし件数	雪すかし所要時間	活動人数
峰山	16	43	164.5	142
大宮	13	36	181.0	82
網野	12	11	43.0	50
丹後	4	4	64.5	16
弥栄	19	70	164.5	118
久美浜	6	10	15.5	33
合計	70	174	633.0	441

## II-10

事業名及び事業目的	取り組み内容と実績
<b>在宅重度身体障害者訪問入浴サービス事業</b> (受託) 在宅の重度の身体障害者の生活を支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・安心・安らぎ、家族の介護軽減(身体の清潔)を目標にサービスの提供を行なった。</li> </ul>

し、訪問により入浴サービスを提供することでその家族等の負担の軽減を図る。	
--------------------------------------	--

《実績》 前年度比：利用実人数2人 増減0人 延べ利用回数8回減

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
利用実人数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
延べ訪問日数	7	7	7	7	7	7	7	7	6	8	5	7	82
延べ利用回数	9	10	12	9	9	10	10	10	8	11	6	8	112

### II-1 1

事業名及び事業目的	取組み内容と実績
<b>障害福祉サービス（居宅介護事業）</b> （久美浜） 利用者が居宅において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、身体介護・家事援助等、生活全般の援助を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の問題点を察知し、関係機関との連携を図ることで利用者の自立支援に向けた計画の見直しや効果的な支援を行った。</li> <li>・利用人数、訪問回数ともに増となった。</li> </ul>

《実績》 前年度比：利用実人数12人 増2人 延べ利用回数359回増

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
利用実人数	10	11	10	10	9	10	10	9	10	9	10	9	12
延べ訪問日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	30	28	31	364
延べ利用回数	154	225	175	157	129	178	172	155	145	131	132	135	1,888

## 5. 事業概要Ⅲ（介護保険事業）

### （1）居宅介護事業

#### III-1

事業名及び事業目的	取組み内容と実績
<b>訪問介護・介護予防訪問介護事業</b> （久美浜） 利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう、居宅における生活の援助を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者と家族の意見や要望等を把握し、モニタリングの実施に努めた。</li> <li>・市、包括支援センター、居宅介護支援事業所等と常時連携しながら事業を実施した。</li> <li>・利用人数は増えたが訪問回数は減となった。</li> </ul>

《実績》 前年度比：利用実人数4人増 延べ訪問回数1,684回減

介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
要支援1	41	45	44	50	45	42	45	44	51	48	43	46	544
要支援2	106	121	115	116	91	96	57	56	53	62	59	69	1,001
要介護1	178	155	158	157	146	168	231	171	173	155	159	208	2,050
要介護2	133	144	180	188	191	226	205	182	167	175	169	182	2,142
要介護3	120	109	87	102	99	93	112	126	146	147	110	144	1,395
要介護4	98	101	88	107	99	124	114	161	173	174	172	173	1,584
要介護5	152	165	152	147	181	208	149	129	78	77	86	110	1,634
訪問回数	828	840	824	867	852	957	913	869	841	838	789	932	10,350

※ 訪問介護員 常勤3人・兼務3人・登録16人

※ 要支援者 27人 ※ 要介護者 67人

### Ⅲ-2

事業名及び事業目的	取り組み内容と実績
<b>訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護事業</b> (久美浜) 利用者が可能な限り居宅において、その有する力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう、居宅における入浴の援助を行うことにより、利用者の身体の清潔保持及び心身の機能の維持を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の在宅生活を重視し、居宅介護支援事業所や医療機関との連携を図り、計画的に事業を実施した。</li> <li>・利用人数、訪問回数ともに増となった。</li> </ul>

《実績》 前年度比:延べ利用人数5人増 延べ訪問回数48回増 ※利用実人数22人

介護度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防	利用人数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	利用回数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
要介護1	利用人数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	14
	利用回数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	25
要介護2	利用人数	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	0	2	26
	利用回数	2	2	1	6	4	1	1	1	1	2	0	4	25
要介護3	利用人数	3	1	2	2	2	2	3	3	2	2	2	2	26
	利用回数	16	10	11	13	11	11	14	10	9	6	8	7	126
要介護4	利用人数	2	2	2	2	2	2	2	3	3	2	1	1	24
	利用回数	16	8	10	12	12	13	12	17	17	13	8	9	147
要介護5	利用人数	5	3	5	5	5	4	6	6	6	6	5	6	62
	利用回数	23	14	24	23	25	21	21	27	23	28	27	33	289
総合計 (人数/回)	利用人数	11	7	10	12	11	10	12	13	12	11	8	11	128
	利用回数	57	34	46	55	52	47	48	55	50	49	43	53	589

### (2) 通所介護事業

#### Ⅲ-3

事業名及び事業目的	取り組み内容と実績
<b>通所介護・介護予防通所介護事業</b> (受託) 要介護及び要支援と認定された高齢者に対し、可能な限り居宅において、その有する能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう、日常生活上の世話や機能訓練を行うことで、社会的孤立の解消や心身機能の維持並びに家族の身体的、精神的負担の軽減を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施以来初めて第三者評価を受け、特に人材確保と育成、職員間の情報共有、地域との交流について高評価を受けた。</li> <li>・利用者と家族に対してサービス内容などについてのアンケート調査を実施し、その結果をもとに改善をはかりニーズに添ったサービス提供に努めた。</li> <li>・行事のポスターを配布し、見学者を受け入れ、本サービスの周知を図った。</li> </ul>

《実績》 前年度比:延べ利用人数387人減 1日平均利用人数1.5人減

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1	24	23	22	20	17	21	21	26	25	24	24	27	274
要支援 2	100	93	101	92	93	101	102	102	114	94	86	117	1,195
要支援計	124	116	123	112	110	122	123	128	139	118	110	144	1,469
要介護 1	112	96	99	111	92	113	122	124	113	93	83	89	1,247
要介護 2	120	94	114	118	123	98	102	122	138	118	137	162	1,446
要介護 3	51	37	31	34	53	56	68	54	52	44	54	63	597
要介護 4	23	17	30	30	35	37	28	28	30	17	20	22	317
要介護 5	20	22	24	28	24	31	29	34	27	21	23	33	316
要介護計	326	266	298	321	327	335	349	362	360	293	317	369	3,923
利用者数計	450	382	421	433	437	457	472	490	499	411	427	513	5,392
稼働日	22	21	22	22	22	22	21	22	22	20	20	23	259
平均利用数	20.5	18.2	19.1	19.7	19.9	20.8	22.5	22.3	22.7	20.6	21.4	22.3	20.8

### (3) 介護保険施設事業

#### Ⅲ-4

事業名及び事業目的	取り組み内容と実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人保健施設事業</li> <li>・短期入所療養介護事業/介護予防短期入所療養介護事業</li> <li>・通所リハビリテーション事業/介護予防通所リハビリテーション事業</li> <li>・居宅介護支援事業</li> </ul> <p>京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅの条例・規則・規程等に基づき、今後予想される高齢者の介護保険サービス利用者の増大及び多様化・高度化に対応できるサービスの提供者として、より一層京丹後市民に支持される施設を目指す。</p>	<p>平成22年度実績(平成21年度対比)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老人保健施設入所者480人減。</li> <li>・短期入所療養介護/介護予防短期入所療養介護入所者160人減。</li> <li>・通所リハビリテーション利用者774人増。</li> <li>・介護給付/予防給付プラン実績34人増。</li> </ul> <p>全体的に利用数が減少した上に、1月のノロウイルス発症による入所者の制限と多数の肺炎者の入院により入所数は減少したが、入所・通所施設を分離したことで、デイケアには大きな影響はなかった。</p>

#### 1 事業名及び事業目的

- ・老人保健施設事業
- ・短期入所療養介護事業/介護予防短期入所療養介護事業
- ・通所リハビリテーション事業/介護予防通所リハビリテーション事業
- ・居宅介護支援事業

京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅの条例・規則・規程等に基づき、今後予想される高齢者の介護保険サービス利用者の増大及び多様化・高度化に対応できるサービスの提供者として、より一層京丹後市民に指示される施設を目指す。

#### 2 事業達成目標及び具体的施策の取り組み内容と実績

##### ①利用者本意及び利用者がよりよい生活ができるよう支援する。

- ・職員主導型の介護から脱却するために、利用者及び家族等からの意見聴衆のために

意見箱を設置し職員に公表した。また、前年度受診した第三者評価の指摘事項の改善を履行することで、職員の意識改革を行ってきたが、なかなか直ぐには結果が出ておらず、今後も長期的展開が必要である。

②利用者家族との交流を図る。

- ・入所すると利用者と家族が疎遠になりがちになるため、些細なことでもできるだけ電話連絡を取るようにはしていたが、それ以上には交流を図ることができなかった。

③職員の資質向上を図る。

- ・職員個々の技量には問題ないが、当施設の特有なものなのか、施設全体に責任の無い業務になっていたため、各自責任を持って自分の仕事を行うことと、自分の意見を発信するようにと指導し、発言の場を設けてきたが、以前からの慣習なのか、指示待ちの職員が多く資質向上がなかなか図れていない。しかし若干以前よりも、自分の意見が言える職員が出てきていることも事実である。

④各部署及び他施設等との連携を強化する。

- ・以前より、施設の核になる職員がおらず、施設全体の連絡調整が取りづらく、重要な事項でも末端の職員まで伝わっていないことが多く、風通しの悪い施設であったが、まずは核となる職員を配置し、管理課と生活課の長との調整を図り、徐々に連携が取れるようになったが、今後も引き続き力を入れていく事項である。また、他施設との連携については、京丹後市福祉サービス事業者協議会の発足から徐々に連携取れるようになった。

⑤利用者の安全管理を強化する。

- ・今まで利用者のリスク管理が十分にできていなかったため、リスクマネージャー養成のための研修に職員を派遣したり、リスクマニュアル作成に取り掛かったり、利用時リスク説明書等を作成したりして、職員個々のリスク意識を高めているが、なかなか利用者の事故が減らないのが現状である。

⑥計画的な事業を実施する。

- ・これまで当施設では、施設の事業計画や理念というものがなく、その時々判断で事業運営が行われてきたため、3年前より事業計画を作成し、その事業計画に沿って事業運営を行おうとしてきたが、作成した計画に職員が慣れておらず、空回りすることもあった。しかし徐々に事業計画というものの大切さを把握できるようになってきたが、まだまだ計画的な事業運営とは言えていない。

《実績》

①老人保健施設事業 延べ利用人数 前年度比：480人減

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
京丹後市	1,507	1,388	1,367	1,440	1,454	1,564	1,477	1,477	1,398	1,474	1,244	1,338	17,128
与謝野町	584	648	684	689	644	599	640	670	655	660	638	664	7,775
宮津市	371	465	390	440	446	398	473	429	557	497	435	519	5,420
その他	251	258	246	211	236	217	183	213	206	174	164	158	2,517
計	2,713	2,759	2,687	2,780	2,780	2,778	2,773	2,789	2,816	2,805	2,481	2,679	32,840

4月～12月までは、4・9・11月を除いて減少。1月～3月は激減。3ヶ月間が占める減少の割合

は365人で76.5%であった。また、昨年は、1日平均約91.3人であったが、今年度は、約90人弱であった。今年度は、1月・2月のノロウイルス及び肺炎の流行により、入所制限を行ったため入所減に拍車をかけた。

②短期入所療養介護事業/介護予防短期入所療養介護事業 延べ利用人数 前年度比：160人減

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
京丹後市	130	174	139	123	121	134	143	122	109	86	98	150	1,529
与謝野町	0	0	0	4	17	0	2	2	0	0	9	4	38
宮津市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	12
計	130	174	139	127	138	134	145	124	109	86	107	169	1,582

利用増の月→5・6・8・11・3月。利用減の月→4・7・9・10・12・1・2月。12・1月が激減(97人)60.6%。

昨年度は、1日平均約4.8人であったが、今年度は約4.3人であった。短期入所療養介護事業においても老人保健施設事業同様に1月・2月はノロウイルス及び肺炎の流行により、入所制限を行ったため入所減に拍車をかけた。

長・短期あわせての1日平均、昨年度は約96.1人。今年度は94.3人であり目標の1日平均97人。

③通所リハビリテーション事業/介護予防通所リハビリテーション事業 延べ利用人数 前年度比：774人増

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
京丹後市	640	639	667	685	658	658	685	686	664	576	616	718	7,892
その他	0	0	0	0	0	2	3	3	2	1	1	3	15
計	640	639	667	685	658	660	688	689	666	577	617	721	7,907
実施日	22	21	22	22	22	22	21	22	21	20	20	23	258

全ての月で利用増。初めて1日平均30人を超えた(30.6人)。昨年は27.4人。但し、全月で利用増にはなったものの、1月は鈍化した。

④居宅介護支援事業 介護給付及び予防給付ケアプラン実績 前年度比：34人増

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護給付	55	54	53	54	52	55	56	58	57	52	53	51	650
予防給付	10	11	11	10	10	9	8	8	9	10	10	9	115
計	65	65	64	64	62	64	64	66	66	62	63	60	765

全体では、34人増になったが、介護給付が26人減。逆に予防給付は60人増となった。

傾向として、京丹後市から処遇困難者をまわしてることが増え、1人にかかる時間が長くなり、多くの利用者を持てなくなった。また、予防給付は、京丹後市のケアマネージャーが本来の担当者であるが、各事業所に回してることが多くなった。

## 6. 事業概要Ⅳ（生活支援事業）

### Ⅳ－1

事業名及び事業目的	取り組み内容と実績
<b>相談事業</b>	《 =No. 53》

### Ⅳ－2

事業名及び事業目的	取り組み内容と実績
<b>生活福祉資金貸付事業</b> 低所得者、障害者、高齢者の世帯を対象に、資金の貸付と民生委員による生活支援などにより、経済的自立と安定した生活の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の生活課題や支援ニーズが複雑なケースが増え、他機関と連携を取り利用者の自立支援に対応した貸付に繋いだ。</li> <li>・滞納世帯への訪問や面接を民生委員と連携しながら行い、世帯状況の把握と支援により償還指導を行った。</li> </ul>

《貸付内訳》

資金種類	件数	金額	備考
総合支援資金 生活支援費	8	5,130,000	
福祉資金 福祉費	4	1,742,000	
緊急小口資金	3	218,000	
教育支援資金 教育支援費	3	1,104,000	
就学支援費	7	3,500,000	
合計	25	11,694,000	

### Ⅳ－3

事業名及び事業目的	取組み状況と結果
<b>祭壇等貸付事業（久美浜）</b> 自宅で葬儀を希望される方への貸付支援	・自宅で葬儀を希望される方への貸付を行った。

《実績》 前年度比：利用件数2件減

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
祭壇利用件数	0	1	2	0	0	0	2	0	0	2	1	0	8
礼状利用枚数	0	0	0	0	100	0	500	0	0	0	0	0	600



